

## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日  
上場取引所 東

上場会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社  
 コード番号 2702 URL <http://www.mcd-holdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO) (氏名) サラ・エル・カサノバ  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部執行役員 (氏名) 今村 朗  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6911-6000

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	172,248	△12.7	238	△97.8	△576	—	△7,543	—
25年12月期第3四半期	197,352	△10.6	10,774	△39.2	10,843	△39.1	6,394	△36.3

(注)包括利益 26年12月期第3四半期 △7,539百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 6,401百万円 (△36.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△56.74	—
25年12月期第3四半期	48.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	195,924	160,367	81.8
25年12月期	213,226	171,895	80.5

(参考)自己資本 26年12月期第3四半期 160,187百万円 25年12月期 171,720百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	221,000	△15.1	△9,400	—	△10,700	—	△17,000	—	△127.86

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	132,960,000 株	25年12月期	132,960,000 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

26年12月期3Q	869 株	25年12月期	829 株
-----------	-------	---------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期3Q	132,959,151 株	25年12月期3Q	132,959,256 株
-----------	---------------	-----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は、概ね終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

**(事業戦略に関する定性的情報)**

当第3四半期連結累計期間は、7月に発生した上海福喜問題を受け、食の安全に対するお客様からの信頼回復を最優先事項として様々な対応策を講じてまいりました。

具体的には、全てのチキン商品のタイ製への切り替え、原材料の最終加工国、主要原料原産国の情報公開、監査体制の強化、Q&Aサイト「見える、マクドナルド品質」の開設など品質管理システムの強化および情報開示の透明性の強化を実施しております。

当期は期初より「すべてを、お客様のために」という理念のもと、様々な活動を実施してまいりましたが、今後も引き続き食の安全に対するお客様の信頼回復を最優先課題とし、価格戦略、メニュー改革、そして既存店への投資を通じ、迅速に事業を回復し、更なる顧客満足の向上に努めてまいります。

**商品戦略**

上半期は、「アメリカンヴィンテージ」キャンペーンや「カラフルゴールデンウィーク」キャンペーンの展開、「FIFA World Cup™ 公式ハンバーガー」の販売を実施いたしました。

当第3四半期は、マクドナルド2014サマーキャンペーンとして「夏のマックFes!」を実施し、第1弾として「クォーターパウンダー ハバネロトマト」「チキンフィレオ ハバネロトマト」「BLT モッツアレラ&バジル」を、第2弾として「チキンタツタ」「チキンタツタ 和風おろし」を販売いたしました。また、人気定番商品「ビッグマック」「えびフィレオ」のバリューセットのお得な特別価格での販売や、秋限定の人気メニュー「月見バーガー」シリーズの販売を実施し、お客様にご好評いただきました。

**店舗開発戦略**

収益性の高い郊外型の大型ドライブスルー店舗を中心とした新規出店や、既存店のリモデル、リロケーションを進め、店舗ポートフォリオの最適化を推進いたしました。これらの活動の結果、店舗数は以下のとおり推移いたしました。

区分	前連結会計年度末	新規出店	閉店	区分移行		当第3四半期連結会計期間末
				増加	減少	
直営店舗数	1,013店	14店	△36店	14店	△2店	1,003店
フランチャイズ店舗数	2,151店	10店	△52店	2店	△14店	2,097店
合計店舗数	3,164店	24店	△88店	16店	△16店	3,100店

また、お子様連れを含むすべてのお客様に、よりきれいな空気と健康に配慮した環境のなかでお食事をお楽しみいただけるよう、全店舗を屋内禁煙といたしました。

マックデリバリーサービスは、当第3四半期末で182店舗となり、順調に店舗数を拡大しております。専任バリスタによる本格派カフェコーヒーを提供するコーナー、マックカフェ バイ バリスタを併設した店舗は当第3四半期末で95店舗となりました。

**(経営成績に関する定性的情報)**

当第3四半期連結累計期間においては、先般の上海福喜問題により売上高が大きく減少いたしました。既存店売上高は9.3%減少、システムワイドセールスは3,440億16百万円（前年同期比9.7%減少）、売上高は1,722億48百万円（前年同期比251億04百万円減少）となりました。この売上高の減少に伴う影響に加え、当問題により直接的・間接的に発生した投資・費用が利益を押し下げる要因となりました。具体的には原材料の廃棄費用、問題発生以降の売上動向等を踏まえた減損損失の計上、引き続きお客様に最高の店舗体験を提供するためのフランチャイズオーナーに対する財務施策、当社の商品に対するお客様の信頼回復のための品質管理システムや情報開示の透明性強化への積極的な投資等が含まれます。これらの結果、経常損失は5億76百万円（前年同期は経常利益108億43百万円）、四半期純損失は75億43百万円（前年同期は四半期純利益63億94百万円）となりました。

(注) システムワイドセールスとは、直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高であり、四半期連結損益計算書に記載されている売上高とは一致しません。

(注) 既存店売上高とは、少なくとも13ヶ月以上開店している店舗の売上高です。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は533億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ252億49百万円の減少となりました。これは配当金及びロイヤルティ等の支払により現金及び預金が減少したこと、及びフランチャイズオーナーに対する財務施策による債権を投資その他の資産へ振替えたことが主な要因です。

固定資産は1,425億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ79億48百万円の増加となりました。有形固定資産は新規出店やりモデルの推進により43億79百万円増加した一方、減損損失を58億72百万円計上したこと等により、14億92百万円の減少となりました。また、上記の流動資産からの振替え等により投資その他の資産が95億34百万円増加しております。

流動負債は234億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億60百万円の減少となりました。これはロイヤルティの支払いにより未払金が減少したことが主な要因です。

固定負債は120億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億13百万円の減少となりました。これは賞与引当金が減少したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期の業績予想につきましては、平成26年10月7日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,041	34,432
売掛金	8,488	4,644
有価証券	15,098	-
原材料及び貯蔵品	1,203	976
繰延税金資産	797	1,580
未収還付法人税等	3,830	2,662
その他	4,259	9,172
貸倒引当金	△110	△110
流動資産合計	78,608	53,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,923	42,235
機械及び装置(純額)	5,556	3,956
工具、器具及び備品(純額)	3,924	3,238
土地	17,069	17,527
リース資産(純額)	4,199	4,582
建設仮勘定	959	2,601
有形固定資産合計	75,633	74,141
無形固定資産		
のれん	376	525
ソフトウェア	2,579	2,335
その他	755	755
無形固定資産合計	3,711	3,617
投資その他の資産		
投資有価証券	56	56
長期貸付金	9	9
繰延税金資産	1,910	3,004
敷金及び保証金	46,368	44,875
その他	7,246	17,358
貸倒引当金	△318	△496
投資その他の資産合計	55,271	64,806
固定資産合計	134,617	142,565
資産合計	213,226	195,924

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	638	223
リース債務	1,239	1,529
未払金	17,025	11,295
未払費用	5,020	4,268
未払法人税等	131	92
賞与引当金	-	300
店舗閉鎖損失引当金	159	41
災害損失引当金	23	23
その他	4,107	5,709
流動負債合計	28,344	23,484
固定負債		
長期借入金	500	500
リース債務	3,363	3,475
再評価に係る繰延税金負債	413	390
賞与引当金	1,517	618
役員賞与引当金	405	94
退職給付引当金	1,805	1,689
役員退職慰労引当金	237	260
資産除去債務	4,439	4,733
その他	303	310
固定負債合計	12,986	12,073
負債合計	41,331	35,557
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,113	24,113
資本剰余金	42,124	42,124
利益剰余金	110,110	98,619
自己株式	△1	△1
株主資本合計	176,347	164,855
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△4,626	△4,667
その他の包括利益累計額合計	△4,626	△4,667
少数株主持分	174	179
純資産合計	171,895	160,367
負債純資産合計	213,226	195,924



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	197,352	172,248
売上原価	166,718	152,852
売上総利益	30,634	19,395
販売費及び一般管理費	19,859	19,156
営業利益	10,774	238
営業外収益		
受取利息	192	112
受取補償金	369	90
受取保険料	55	62
貸倒引当金戻入額	26	-
その他	139	124
営業外収益合計	784	390
営業外費用		
支払利息	75	72
貸倒引当金繰入額	-	242
店舗用固定資産除却損	274	777
賃貸借契約解約違約金	178	26
その他	186	87
営業外費用合計	715	1,206
経常利益又は経常損失(△)	10,843	△576
特別利益		
固定資産売却益	74	-
特別利益合計	74	-
特別損失		
固定資産除却損	62	8
減損損失	-	5,872
固定資産売却損	238	-
上海福喜問題関連損失	-	2,514
特別損失合計	300	8,396
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	10,617	△8,972
法人税等	4,215	△1,433
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	6,401	△7,539
少数株主利益	6	4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,394	△7,543

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	6,401	△7,539
四半期包括利益	6,401	△7,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,394	△7,543
少数株主に係る四半期包括利益	6	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。